

周作クラブ会報

(第98号)
2025年2月28日発行

周作クラブ

◆主な記事◆

新年会報告	1～2面
原稿発掘	3面
遠藤周作文学館便り	4面
周作クラブ長崎便り	5面
原点の旅のお知らせ	6面
遠藤周作「この作」賞寄稿	7面
お知らせ欄	8面

報告

2025年新年会

全国から会員が集う

懐かしい顔ぶれと弾む会話

2025年1月25日、周作クラブ新年会が新宿三井ビル内「スパニッシュ・ダイニングRICO」で開催された。コロナ禍があけて、昨年に引き続きパーティー形式での会である。快晴の空のもと、一面ガラス窓の開放感ある明るい店内でスペイン料理に舌鼓を打ち、久しぶりの出会いを楽しんだ。関西や東日本からの参加者も駆けつけて約50人が集い、笑顔があふれる会となった。

会員が減らない周作クラブ

パーティー形式も2年目となり、おいしい食事と会話を楽しむ気持ちで胸ふくらませた会員たちが続々集まってくる。

12時30分、定刻通りに新年会がスタート。毎年恒例のお楽しみ、豪華賞品が当たる福引には、河出書房新社、新潮社、長崎の遠藤周作文学館、周作クラブ役員の協力もあって、もれなく全員分の景品が用意されている。

司会の亀岡園子さんの開会の言葉に続いて、会長代行の加藤宗哉さんから乾杯の挨拶。

「世の中の会は、だんだん会員が減っていくものなのに、この周作クラブはなぜか会員が減らない。新年会も、昨年に引き続きたくさんの人に来ていただいている

んですよ」と、明るい話題から始まった。

2024年1月に逝去した高橋千劍破幹事の代わりに、2名の新幹事として、亀岡園子さん、清水優子さんが定時総会で承認されたことが報告された。併せて従来幹事の一田佳希さん、今井真理さん、宮辺尚さんが紹介された。

ロマネ・コンテイ事件は

遠藤先生のイタズラ?

食事はbuffetスタイルのスペイン料理。たっぷりのパエリアやパスタ、オードブルの皿が並んでいる。おいしい料理を食べながら会話が弾む。

13時10分から旅行担当の石井由里さんから、今年の「遠藤文学・原点の旅」の説明があった。5月18日(日)から19

(次頁に続く)



全国から約50名もの会員が集まった新年会での記念撮影。